

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者

井谷 (L)、山本

2. 山城／ルート

新潟 明星岩 P 6 南壁 フリースピリッツ、左岩稜

3. 交通手段

車

4. 行動記録

<入山日 22年6月10日。 下山日 22年6月11日>

- 1日目 7:00 展望台→7:40 フリースピリッツ登攀開始→13:40 15P 登攀終了
→南山稜下山→16:25 展望台 (車中泊)、
2日目 8:00 左岩稜登攀開始→5P 松の木テラス登攀終了→懸垂下降3回
→12:00 展望台

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

予定ルートをはずれた場合、あるいは日程が異なった場合はその理由
予定通り、1日目時折小雨が降り、不安になったが、幸い登攀に支障はなかった。

b) 事故に繋がりそうな要因 (ヒヤリハット) が発生したか？

発生した場合、具体的に記す
特になし

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

特になし

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

明星山 P 6 南壁は駐車スペースの展望台から 30分ほどに取り付けアクセス抜群にいいです。フリースピリッツは 15Pほどありますが、人工登攀ではなく、すべてのピッチがフリーで登れます。グレードも V+が最大です。時折あるトラバースは高度感抜群でなかなか体験できないです。下山は、南山稜を使いました。途中からトラロープで道がわかりやすくなりますが、最初はわかりづらいです。下山に 3時間あまりかかりました。1日目は P 6 南壁に取り付いたのは私たちだけでした。

2日は左岩稜に登りました。この日は私たちを含めて 4パーティ 8名が P 6 南壁に取り付きました。左岩稜は私たちだけでした。このルートは 3P目が人工ルートです。かなりかぶっていましたが、フィフィを持参しなかったので疲れしました。5Pほどの登り、懸垂下降でおりました。

充実感満載の山行でした。

報告者氏名 井谷竜治

22年6月12日

【感想：山本】

もともこの時期は、錫杖岳山行のはずでしたが、相方と屏風に行った際に落石が多く、もうマルチはやらないとか言い出したはずが、帰路の車でどういうわけか、明星山に行こうとなりました。 やれやれ。

TOPOを確認すると10Pを超えの経験がなく、それなりに緊張しましたが、終わってみますととても良い経験になりました。1日目のフリースピリッツは左右にうまく弱点を着いたルートで難易度も程よく特にトラバースのドキドキ感なかなか味わえないものです。帰路は不明瞭なので苦労しました。2日目の左岩稜は取付き点がわかりづらく苦労しました。また、人工ルートも含め全体的にフリースピリッツよりも辛めのグレード感でした。こちらは、他パーティーも居られませんでしたので、懸垂下降で降りることができ下山は楽チンでした。

実は、1日目のフリースピリッツ下山後に、ある出来事がありました。車の前ですべてのザック内のものを出して、ガチャ類を整理するつもりで着替えをしたりとゴソゴソした後で確認をすると、どういうわけかチェストハーネス及びそこ付けていたガチャ類1式が見当たりません。置き忘れたつもりもありませんでしたが、ザックから出した際には、ロープやら一気に出していたため、あまり意識していませんでした。ただどれだけ探しても見当たらない為、靴を履き替えた場所に置き忘れた事として、2日目の左岩稜終了後にもう少しあがり、前日の場所へ捜索に行く予定をしていました。個人的には、最近では手に入らなくなったリンクカムや多数のヌンチャク類が紛失の可能性もあり、またそこまで物忘れがひどいかな〜とモンモンとしながら寢床に着きました。さて翌日です。相棒のビニール袋の中に、「これ山もっちゃんのガチャやん」と言います。は〜って感じで昨日のモンモンとした時間を返せとその際にも帰りの車でもクレームをつけた次第です。物が無くなった場合には、相方の持ち物も再確認することも必要なんやなと経験した良い山行でした。